

申命記結晶#6 その地での生活とその地の結果-宮また神の住まいとしての、そして都また神の王国としての召会

2020/3/30-4/5

**Overview:** 私たちは良き地、すべてを含むキリストを享受することができる生活をすべきです。私たちは個人的にキリストの上で労苦し、享受する生活をする必要があります。それは私たちが集会で集まった時、個人的に経験したキリストを携えて来て、団体的に互いにキリストを享受するためです(I, II)。毎朝の復興の時、団体的な享受だけでなく、個人的で親密な主との交わりが必要です。私たちは徹底的に罪を告白して、主との交わりを維持し、御言葉に時間を費やす必要があります(III)。私たちは集会に来た後、靈感を待つ必要はなく、また待つべきでもありません。私たちは霊を活用し、訓練された思いを用いて機能し、自分が準備したものを主にささげて、主に栄光と満足を得させ、また集会の参加者に照らしと養いと建造とを得させるべきです(IV)。私たちは、良き地であるキリストの豊富を経験するために、私たちの霊によって統治され、支配され、方向づけられ、動かされ、導かれなければなりません(V)。私たちが集会生活においてキリストを団体的に享受するために、日常生活においてキリストを個人的に享受するとき、神は私たちの間にあり、私たちは彼の住まい、また彼の王国です(VI)。

**I. 私たちは、神の目にどのように生活すべきかを見る必要があります。この生活は、良き地によって予表されているすべてを含むキリストを、私たちが享受することができるようにします。**

**II. 私たちは、キリストの上で労苦する生活、すなわち、個人的にキリストを享受する生活をする必要があります。それは、私たちが団体的にキリストを享受して、生ける神の宮、家であるキリストのからだを建造することができるためです:**

**A.** 神のみこころは、私たちがキリストを享受することです。  
**B.** 私たちは、あらゆる状況においてキリストを享受すること、またキリストを経験することを追い求めなければなりません。

**C.** 私たちは、集会に来て主を礼拝するときはいつでも、空手で来るべきではありません。私たちは、キリストの産物で満ちた手で来なければなりません。**申16:16** あなたの男子はみな一年に三度、…エホバ・あなたの神が選ばれた場所で、御前に出なければならぬ。

**1.** 私たちは、彼を十分に生み出さなければなりません。それは、乏しい者と貧しい者のために、また祭司とレビ人のために、余剰が取っておかれるためであり、そして主ご自身に最上のものを持って行くためです。

**2.** キリストをもって神を礼拝することは、神のすべての子供たちと共に神を団体的に礼拝することであり、互いにキリストを享受し、神と共にキリストを享受することです。

**Iコリント14:26** それでは兄弟たちよ、どうなのですか？あなたがたがいつも集まるときには、それぞれのの人に詩歌があり、教えがあり、啓示があり、異言があり、解釈があります。すべての事を、建造のために行ないなさい。**III**

**III. もし私たちが勝利者でありたいなら、私たちの良き地であるキリストの上で労苦し、私たちの享受であるキリストを獲得する必要があります:**

**A.** 私たちは毎朝、主を享受して経験するという単一の目的のために、心から自分自身を主にささげなければなりません。

**B.** 私たちは毎日、個人的に、またひそかに主と時間を費やして、主と親密な交わりを持つ必要があります。

**C.** 私たちは毎朝早く、御言の中で主を享受して、毎日

新しい開始を持つ必要があります。**詩119:147-148** 私は夜明けに先立って目覚め、叫び求めます。私はあなたの言葉を待ち望みます。私の目は夜の見張りに先立って目覚め、あなたの言葉を思い巡らします。

**D.** 私たちは徹底的に罪を対処して、私たちと主との間に何もないようにする必要があります。

**Iヨハネ1:9** もし、私たちが自分の罪を告白するならば、神は信実で義であられるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。

**E.** 私たちは時々刻々、私たちと主との交わりを維持して、祈りの生活をする必要があります。

**F.** 私たちは時間を贖い労力を費やして、神の聖なる御言で浸透され、浸される必要があります。

**G.** 私たちは時間を贖って霊の中で満たされるべきです。それは、いつも喜び、絶えず祈り、あらゆることで感謝することによってです。

**IV. 私たちは共に集まって、自分が労苦ししてきたキリスト、すなわち自分が享受し経験してきたキリストを展覧します:**

**A.** 神の民による神に対する真の礼拝は、あらゆる人がキリストで満ち満ちていて、キリストをもって輝いており、彼らが労苦ししてきたキリストを展覧するときです。

**B.** 私たちは常にすべての集会において、語るものを持っているべきです。それは神に対する、また集会の参加者に対する自発のささげ物です:**1.** 私たちは集会に来る前、私たちが主を経験したことを通して、あるいは主の言葉を享受したことと祈りの中で主と交わったことを通して、主からのものを持ち、集会のために準備すべきです。

**2.** 私たちは集会に来た後、靈感を待つ必要はなく、また待つべきでもありません。私たちは霊を活用し、訓練された思いを用いて機能し、自分が準備したものを主にささげて、主に栄光と満足を得させ、また集会の参加者に益を、すなわち、照らしと養いと建造とを得させるべきです。

**V. 私たちは日ごとに、また時間ごとに、良き地であるキリストの驚くべき、すばらしい、計り知れない、無限の、すべてを含む豊富を享受する必要があります:**

**A.** IIコリントにおいて、乳と蜜の流れる良き地は、手順を経た三一の神の具体化であるキリストご自身です。キリストは神聖な恵みとして私たちに与えられ、私たちに享受を得させます:**IIコリント12:9** すると彼は私に言われました、「私の恵みは、あなたに対して十分である。私の力は、弱さにおいて完全に現れる」。ですから、私はむしろ自分の弱さを、大いに喜んで誇りましょう。それはキリストの力が、私の上に幕屋を張るためです。

**13:14** 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。

**1.** 私たちは、良き地であるキリストの豊富を経験するために、私たちの霊によって統治され、支配され、方向づけられ、動かされ、導かれなければなりません。

**2.** 私たちは、良き地であるキリストの豊富を経験するために、キリストのパーソン、臨在、御顔の中で生きなければなりません:**2.** 私たちは、すべてを含む地であるキリストを所有するために、キリストのパーソン、彼の臨在によって支配されなければなりません。

**3.** パウロはキリストの御前で(パーソンの中で)生きたので、キリストを不変性として、柔和と優しさとして、真実として、力として、恵みとして、パウロの中で語る方として経験しました。

**3.** 私たちは、聖霊の砕き構成する働きを通して、キリストを恵み、すなわち良き地の実際として受けます。それによって、私たちの内なる存在は、神聖な三一をもって再び建造されます。



B. 私たちの経験が、キリストをすべてを含む地として享受する段階に達するとき、キリストは私たちにとって無限に偉大です。彼は良い広大な地です。この地の大きさは、その広さ、長さ、高さ、深さです：

**出3:8** 私は下って行って、彼らをエジプト人の手から救い出し、そして彼らをその地から、良い広大な地に、乳と蜜の流れる地に、…上らせる。

**エペソ3:18** 力に満たされて、すべての聖徒たちと共に、その広さ、長さ、高さ、深さが何であるかを会得し、

1. キリストの大きさは、宇宙の大きさです。  
2. 私たちは、キリストの大きさを会得するために、すべての聖徒を必要とします。  
3. 私たちがキリストを経験することは、立方体のように、三次元のものとならなければなりません：

a. 私たちはキリストを経験することにおいて、行ったり来たり、上がったたり下がったりしなければなりません。それによって、最終的に私たちがキリストを経験することは、堅固な「立方体」になります。私たちの経験がこのようであるとき、私たちが倒れたり打ち破られたりすることはあり得ません。

b. 幕屋においても宮においても、至聖所はそれぞれ、十キュビトと二十キュビトの立方体でした。

c. キリストは宇宙的な立方体であり、召会生活も今日、立方体です。d. 最終的に、新エルサレム全体は至聖所となり、三次元においてそれぞれ一万二千スタディアの永遠の立方体です。 **六**

**VI. 私たちが良き地であるキリストのすべてを含む豊富を享受した結果は、宮また神の住まいとしての、そして都また神の王国としての召会です：**

**エペソ2:21-22** その方の中で、建物全体が共に組み合わせられ、主の中にある聖なる宮へと成長していき、その方の中で、あなたがたもまた共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです。

A. その宮と都を伴う地は、神のご計画の中心です：

1. その地はキリストご自身であり、その宮とその都はキリストの豊満、すなわち召会、キリストのからだです。  
2. 宮は神の表現のためであり、都は神の統治のためです。これは神の永遠の定められた御旨を成就します。

B. 私たちが集会生活においてキリストを団体的に享受するために、日常生活においてキリストを個人的に享受するとき、神は私たちの間におり、私たちは彼の住まい、また彼の王国です：

1. 私たちがこのような程度にまでキリストを享受するとき、召会の集会は神で満たされ、その活動すべてが人々に神を伝達しもたらして、人々が神をもって注入されるようになります。

2. 私たちはこのような程度にまでキリストを享受するとき、互いに服従し合うようになり、キリストの権威が私たちの間にあるようになります。 **エペソ5:21** キリストを畏れつつ、互いに服従し合いなさい。 **1ペテロ5:5** あなたがたはみな、互いに謙そんの帯を締めなさい。 **金**

C. 神の表現のための神の家、神の住まいの主要な面は、神の臨在について語っています(神の家はキリスト、召会、新エルサレム、私たちの霊を表徴しています)：

1. 神の家は、神の臨在の場所であり、神の臨在は神の栄光、神の麗しさ、神の豊富です。 **詩27:4** 私は一つの事をエホバに願いました。私はそれだけを求めます。私の命の日の限り、エホバの家に住んで、エホバの麗しさを見つめ、彼の宮で尋ね求めることを。  
2. 神の家は、啓示と神の答えとがある場所です。

3. 神の家は、私たちの隠れ場です。

4. 神の家は、私たちが植えられ、栄え、実を結ぶ場所です。5. 神の家は、泉の場所です。

6. 神の家は、私たちが増強される場所です。

7. 神の家は、私たちが神とミングリングされる場所です。

8. 神の家は、神が私たちの分け前となる場所です。

D. 神の統治のための神の都、神の王国の主要な面は、神の権威について語っています：

1. 神の都は、堅固な都、大いなる王の都です。

2. 神の都の中には一つの川があって、その流れは神の都を喜ばせます。 **詩46:4-5** 一つの川がある。その流れは神の都を、いと高き方の幕屋である聖なる場所を喜ばせる。神が都の真ん中におられるので、都は揺らぐことはない。神は夜明け前に、これを助けられる。

3. 神はそこにおいて知られ、そしてそこにおいて高きとりです。4. 彼女は、敵にとって恐怖です。

5. 彼女は、麗しさの極みです。

6. 彼女は、神の大いなる喜びの目標です。

7. 裁きの座は、神の都の中に設けられています。

8. 主はそこから人を祝福し、そこからほめたたえられます。

E. 私たちがキリストをその地として享受した究極的な結果は、手順を経た三一の神と、ご自身の再生され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る人々との神性と人性の合併(神の永遠の住まいと神の王国)です。 **六**

**Crucial Point(1): 毎朝復興した後、日常生活で主との交わりを維持し、Going up の生活をする**

**OL1:** 私たちは、キリストの上で労苦する生活、すなわち、個人的にキリストを享受する生活をする必要があります。それは、私たちが団体的にキリストを享受して、生ける神の宮、家であるキリストのからだを建造することができるためです。

**OL2:** 私たちは、彼を十分に生み出さなければなりません。それは、乏しい者と貧しい者のために、また祭司とレビ人のために、余剰が取っておかれるためであり、そして主ご自身に最上のものを持って行くためです。

**OL3:** 私たちは毎日、個人的に、またひそかに主と時間を費やして、主と親密な交わりを持つ必要があります。

**OL4:** 私たちは毎朝早く、御言の中で主を享受して、毎日新しい開始を持つ必要があります。

**OL5:** 私たちは徹底的に罪を対処して、私たちと主との間に何もないようにする必要があります。私たちは時々刻々、私たちと主との交わりを維持して、祈りの生活をする必要があります。私たちは時間を贖い労力を費やして、神の聖なる御言で浸透され、浸される必要があります。

私たちはまた、毎朝早く、御言の中で主を享受して、毎日新しい開始を持たなければなりません。神の創造における原則によれば、神は新しい年、新しい月、あるいは新月、新しい日を持つことを定められました。年ごとに、私たちは365回の新しい開始を持つことができます。たとえ私たちが364日の間失敗したとしても、成功する日を持つもう一つの機会が依然としてあります。今日私たちは失敗したかもしれませんが、なおも明日が私たちを待っていることのゆえに主に感謝します。翌朝、私たちに新しい開始を持つもう一つの機会があります。24時間ごとに、私たちが新しい開始を持ち、更新される新しい機会があります。新しい開始を持つことは難しくありません。それはとても簡単です。ただ少し早く起きて、「おお、主イエスよ。おお、主イエスよ」と言ってください。あなたは大声で叫び、人を悩ませる必要はありません。



ません。ただ「おお、主イエスよ」と言ってください。このように言うことは、大きな違いを生じます。時には、私は起きた直後に、主を呼び求めることを忘れました。それは、私にとって大きな損失となりました。私はこのことを認識するとすぐに、「主イエスよ、私があなたを忘れたことを赦してください」と言いました。

それから私たちは御言の短い箇所を、どこでも二節から四節、祈り読みする必要があります。私たちは祈り読みを通して、主の御言をもって、主の御言の中で主を享受することができます。私たちは毎日、朝にこのことを行なって、良い、新しい開始を持つべきです。…私たちは朝早く御言の中で主を享受するために、長い時間を費やす必要はありません。養われ、新しい日の良い開始を持つのに、10～15分だけで十分です。私たちはこのことを実行する必要があります。

#### 適用: 新人および中高生・大学生編

新人および若い学生の皆さんは、毎朝、主の御名を呼び、主の御言葉を10～15分間、祈り読みして、毎朝良い開始を持つことを訓練し、実行して下さい。このことは難しいことではありませんが、あなたの毎朝の生活習慣にならせるために、努力する必要があります。医師は健康を維持するために毎朝朝食をしっかり摂るように勧めています。同様に聖書はあなたが毎朝主の御言葉によって養われ、強められてから日常生活に入るように勧めています。このことは大きな違いを生み出しますので、毎朝復興に注意を払い、必ず実行するようにしてください。

朝の開始において主の御言葉で養われ、新鮮にされ、強められていなければ、あなたは日常生活で容易に短気を起こしたり、思い煩いで満たされたりします。例えば、不登校になった人たちの多くは、最初は友人や先生の些細な語りかけに落ち込むことがきっかけになっていることがあります。必要以上に過剰に反応し、怒りが爆発したり、深く悩み込んだりします。これは内側に養いと力がないので起こります。あなたは不登校ではないかもしれませんが、原則は同じです。宇宙にはあなたを愛し、あなたを励ます神と、あなたを駄目にするために怒りや高ぶりや心配事であなただけを満たそうとする敵サタンが存在します。神の側に来て、励まされるために、毎朝復興は極めて重要な生活習慣です。祈り: 「おお主イエスよ、毎朝主の御名を呼び、主の御言葉で養われて、新しい開始を持ちます。学生の本分である勉強、あるいは在職者の本分である仕事において、私がGoing upするために、内側に力と知恵が必要です。朝復興した後、主と共に勉強あるいは仕事をするのと、主の同在なしで自分だけの力ですのでは、大きな違いがあります。私がGoing upするために主が共にいていただく必要があります。朝毎の復興を実行し、主と共に引き上げられた日常生活を送ることができますように。アーメン!」

**Crucial Point(2): 召会生活の中で、キリストを二次元的に経験し、さらに進んで三次元的に経験して、建造に至る**

**OL1:** 私たちは、良き地であるキリストの豊富を経験するために、私たちの霊によって統治され、支配され、方向づけられ、動かされ、導かれなければなりません。

**OL2:** 私たちは、良き地であるキリストの豊富を経験するために、キリストのパーソン、臨在、御顔の中で生きなければなりません。

**OL3:** 私たちの経験が、キリストをすべてを含む地として享受する段階に達するとき、キリストは私たちにとつ

て無限に偉大です。彼は良い広大な地です。この地の大きさは、その広さ、長さ、高さ、深さです。

**OL4:** 私たちは、キリストの大きさを会得するために、すべての聖徒を必要とします。

**OL5:** 最終的に私たちがキリストを経験することは、堅固な「立方体」になります。私たちの経験がこのようであるとき、私たちが倒れたり打ち破られたりすることはあり得ません。

私たちがみなキリストの二つの次元、あるいは「正方形」の経験を持つことはとても重要です。もし彼の「線」の経験を持つだけなら、この「線」は続いて、やがて極端に達します。すべての極端な人たちは、「一本の線」であり、彼らのキリストの経験は、一本の「線」の上にあります。あなたはキリストを広さと長さとして正しく、正常に経験するなら、極端に走ることから守られるでしょう。キリストの経験の狭くて長い線の上を、あまり行き過ぎてはなりません。そうではなく、彼を「正方形」の方法で、その広さと長さとして経験してください。キリストを広さと長さとして継続的に経験することによって、私たちの経験は、長い、一本の「糸」ではなく、しっかりと織られた「カーペット」のようになるでしょう。

宇宙的な大きさのキリストを経験するためには、召会生活を必要とします。私たちはからだのすべての肢体と共に、キリストを経験する必要があります。特に、私たちは召会の集会を必要とします。なぜなら集会の中で、私たちは均衡がとられるからです。

私たちはキリストを経験することで、二次元から三次元へ、「正方形」から「立方体」へ進むべきです。立方体は堅固です。幕屋においても宮においても、至聖所は立方体でした。…私たちは立方体になるとき、倒れたり、打ち破られたりすることはあり得ません。

#### 適用: 奉仕者編

全てを含むキリストを経験し前進する時、あなたはキリストを二次元的に、さらに三次元的に経験すべきです。例えばある人は福音に負担があり、福音を積極的に伝えます。しかし新人の牧養や成就についてはあまりやる気がありません。福音をするだけの経験であれば、あなたのキリスト経験は一本の線である可能性があります。そうであればあなたは主の中で安定することはできません。赤ちゃんが生まれると母親はすぐに母乳で赤ちゃんを養います。生むことは大変な事であり、素晴らしいことですが、生むだけで養いの経験が無ければ母親として失格です。生むこと以上に養うことは労力がかかり、長い時間がかかります。

あなたは赤ちゃんが成長するに従って、彼らに要求して成就する必要が出てきます。神の愛は駄目にする愛、溺愛ではなく、成就する愛です。日本人は天然の良い人、天然の愛で愛する人が多いので、召会生活で新人に要求することが苦手です。あなたは天然の愛ではなく、神の愛で満たされ、神の愛をもって新人を愛すれば、愛の中で成就するために新人を養いながら要求することができます。兄弟姉妹と取り組んで新人を正しく生み養うことは線と面であり、さらに成就することを加えると三次元となり、建造に至ります。

魚崎のシスターズ・ハウスに住む新人の姉妹が、希望していた大学院の受験を失敗したので、就職を検討していました。彼女は主の前に出て祈った結果、KICの大学院受験の願書提出の締め切り1週間前に受験することを決めました。奉仕をしている姉妹が毎日共に祈り、交わりました。社会人の責任者の兄弟は土日ほぼ付



きつ切りで志望動機書を書くのを助けてくれました。その後受験までの約1週間、奉仕者の姉妹が付きつ切りで面接の練習をしました。その結果姉妹は合格することができました。面接で聞かれた質問は、全て練習した質問の中から出題されました。主に感謝します。これら奉仕をした3人の兄弟姉妹は受験生の姉妹を助けながら、主と召会を愛することを交わりました。合格した後は主と兄弟姉妹に感謝して、時間をささげて主に仕えるように要求しました。新人の姉妹は救われた後、養われてシスターズ・ハウスに住み、大学院受験を通して奉仕の面で前進するように励まされています。奉仕者たちは供給しながら要求して、養い、成就しています。

**祈り:**「おお主イエスよ、私はキリストの広さ、長さ、高さ、深さを経験します。キリストを線から面へ、面から立方体として経験します。福音を伝えることにおいても、生み、養い、教え(成就)の三つの面があって、初めて建造に至ります。召会生活の中で、兄弟姉妹との交わりにより、私はバランスがとられる必要があります。私を成就して神のゴールである建造に至らせてください。アーメン!」

**Crucial Point(3):祝福される秘訣…神の家で神の臨在を享受し、神の都でキリストの権威に服す**

**OL1:** 私たちが良き地であるキリストのすべてを含む豊富を享受した結果は、宮また神の住まいとしての、そして都また神の王国としての召会です。**OL2:** 私たちが集会生活においてキリストを団体的に享受するために、日常生活においてキリストを個人的に享受するとき、神は私たちの間にあり、私たちは彼の住まい、また彼の王国です。

**OL3:** 私たちはこのような程度にまでキリストを享受するとき、召会の集会は神で満たされ、その活動すべてが人々に神を伝達しもたらして、人々が神をもって注入されるようにし、また、互いに服従し合うようになり、キリストの権威が私たちの間にあるようになります。

**OL4:** 神の表現のための神の家、神の住まいの主要な面は、神の臨在について語っています(神の家はキリスト、召会、新エルサレム、私たちの霊を表徴しています)。

**OL5:** 神の統治のための神の都、神の王国の主要な面は、神の権威について語っています。

神の宮は拡大、都を必要とします。どのようにしてそれは拡大されることができるのでしょうか？それは神の権威としてのキリストによって拡大されます。私たちはキリストを私たちの享受として必要とするだけでなく、キリストを神の権威として必要とします。これは極めて実際的です。あなたと私が、私たちが示してきた方法でキリストを共に享受するとき、キリストの権威の実際が私たちの間にあります。そのような享受の中で、そのような享受から、私たちは神に、また互いにとても服従し合うでしょう。私たちは服従に満ちるでしょう。キリストをそのような方法で享受した後、私たちが互いに口論することができる、あなたは信じていることができるでしょうか？そのような享受の中で、私たちが互いに憎み合うことができると、あなたは信じていることができるでしょうか？それは不可能です。私たちが敵と戦う軍隊に編成されているのに、軍隊の内側で互いに争い合っていることができるでしょうか？…服従がないなら、軍隊はありません。私たちがキリストをその程度にまで享受するとき、私たち一人一人は互いに服従し合うでしょう。そうでなければ、私たちは服従することができません。真の愛は服従の中にあります。私たちは互いに服従し合うとき、真に互いに愛し合っています。真の愛は私の好み、私の選択、私の願望の中に存在するのではなく、私の服従の中にあります。…神の住まい、神の宮を拡大するのは、キリストの権威です。

ときどき、私たちは地方召会の中で神の臨在を感じますが、神の権威があまりありません。神が彼らの間におられることは感じますが、もう一方で、神聖な秩序に欠けていると感じます。それが意味するのは、その地方召会に家の実際があっても、都の実際がそれほどないということです。他の召会の中で、私たちは神の臨在だけでなく、神聖な統治と天的な権威からのものを感じます。これは都です。…家がなければ、都がなければ、神が戻って来て地を回復する足がかりはありません。

**適用:青年在職・大学院生編**

あなたの個人的な職場や研究室のキリスト経験は、召会を家として、また都として建造するためです。このビジョンはあなたに次の二つの事を教えます:**①**あなたは個人的にキリストを経験しても、それはあなた個人のためではなく、召会の兄弟姉妹のためです。あなたは個人主義を対処する必要があります。**②**あなたは日常生活でキリストを経験するように励まされるべきです。それはあなたのビジネス・ライフや研究生活を引き上げるだけでなく、召会建造の益となります。

全てを含むキリストを享受した結果は、先ず召会が神の家、住まいとして建造されることです。神の家、住まいとしての召会の強調点は、神の臨在です。神の臨在は、**①**神の栄光、神の麗しさ、神の豊富です。**②**啓示と神の答えとがある場所です。**③**私たちの隠れ場です。**④**私たちが植えられ、栄え、実を結ぶ場所です。**⑤**泉の場所です。**⑥**私たちが増強される場所です。あなたは召会生活の中でこれらのすばらしい祝福にあずかることができます。

キリストの享受によって、あなたは互いに服従することができるようになり、キリストの権威が召会生活の中にあるようになります。神の都、王国としての召会の強調点は、神の権威です。神の都は、**①**その中には一つの川があって、その流れは神の都を喜ばせます。**②**敵にとっては恐怖です。**③**その中に裁きの座が設けられています。**④**主が人を祝福し、主がほめたたえられる場所です。留学生の姉妹の証し:私は3月のKICの大学院卒業時に、優秀生(日本人3名、留学生1名)に選ばれました。入学当初の成績は悪かったので、優秀生になれたのは本当にキリストと兄弟姉妹のお蔭です。私の成功の秘訣を交わります:**①**シスターズ・ハウスに住み、神の家である召会生活に留まり、積極的に集会に参加して主を享受し福音に出て行った。**②**困ったことがあれば、導いている姉妹に開いて交わり、助けを求めて、彼らの指導に単純に従った。修士論文のテーマに、当初、うつ病を自己チェックするソフトを開発することに取り組んでいたが、途中で自分自身が精神的に不安定になってきた。姉妹に相談するとテーマを変えるように勧められた。私は単純に従いテーマを変えた。その後、研究は祝福され上手に行った。最後に、日本語の姉妹が修士論文のチェックをして下さった。**③**勉強に一生懸命取り組んだ。**④**経済的な必要のために、奨学金をもらい(大学院の先輩の兄弟姉妹が助けてくれた)、アルバイトにも励んだ。ハレルヤ! 召会は神の臨在がある神の家であり、神の権威がある神の都です! 私は召会生活の中で祝福され前進できました。

**祈り:**「おお主イエスよ、私はビジネス・ライフが忙しくても、召会生活を愛し、慕います。召会は神の家であり、神の臨在があります。ここには神の栄光、麗しさ、豊富があり、啓示と神の答えがあります。また召会は神の都として、神の権威があります。ここに裁きの座が据えられており、敵はこの場所を恐れます。神の都が神のエコノミーの目標です。私は喜んで召会の中に留まります。ハレルヤ!」